

WORLD THOROUGHBRED RANKINGS

The official listing of the top horses in the world
(covering the period 1st February to 31st July 2011)

無敗のマイラー、フランケル **【135】** がサセックス S(G1)を圧勝し、最新版ワールドサラブレッドランキングのトップに立った。

World Thoroughbred Rankings			
Leading Horses 1 st Feb to 31 st July 2011			
Rank	Horse	Rating	Trained
1	Frankel (GB)	135	GB
2	Black Caviar (AUS)	130	AUS
3	Canford Cliffs (IRE)	127	GB
3	Nathaniel (IRE)	127	GB
3	Rewilding (GB)	127	GB
6	So You Think (NZ)	126	IRE
7	Rocket Man (AUS)	125	SIN
7	Workforce (GB)	125	GB
9	Dick Turpin (IRE)	124	GB
9	Goldikova (IRE)	124	FR

同馬はこの競走でキャンフォードクリフス **【127】** に 5 馬身差で圧勝し、2004 年のワールドサラブレッドランキング創設以来、マイル部門で最も高い評価を得た。また、過去にこの馬より高い評価を得たマイラーは、国際クラシフィケーション時代の 1984 年のエルグランセニョール **【138】** まで遡らなければならない。

また英国からは同じ 3 歳馬のナサニエル **【127】** がキングジョージ 6 世&クイーンエリザベス S(G1)を制した。この競走で同馬はワークフォース **【125】** やセントニコラスアビー **【122】** を降している。ワークフォースはエクリップス S(G1)では元豪調教馬で現愛調教馬のソーユーシンク **【126】** にも敗れている。

ナサニエルは、パリ大賞(G1)でリライアブルマン **【121】** やトレジャービーチ **【121】** 、セヴィル **【120】** を降したメアンドル **【123】** を抜き、現時点でクラシックディスタンスである 12ハロンでのトップとなっている。

他のヨーロッパ調教馬ではミッドデイ **【120】** がナッソーS(G1)を制し、昨年に近い成績を残しつつある。また、昨年、フランケルとともにヨーロッパ 2 歳トップに並んでいたド

リームアヘッド【120】はジュライカップ(G1)を完勝、3歳にしてヨーロッパスプリント部門のトップに立ち、その能力の高さを示した。

北米ではアクラメーション【122】がチャールズウィットティンガムメモリアル(G1)を快勝したのに加え、エディリード(G1)も逃げ切りで制し、ユナイテッドネイションズ(G1)優勝馬のティークスノース【121】やマンノウォー(G1)でジオポンティ【119】を降したケープブランコ【120】、シューメイカーマイル(G1)優勝馬のカレイジャスキット【119】を抑え、現時点で北米芝部門のトップに立っている。

シャックルフォード【121】はハスケル招待(G1)では4ポンド軽い負担重量のコイル【118】に敗れたものの、この競走でもベストの数値を得たように、この世代の中では常に安定した成績を残している。同様にハバードグラス【119】はデラウェアH(G2)では2ポンド負担重量が軽かったブラインドラック【118】に敗れたものの、北米古馬牝馬ダート部門のトップに立った。また、ステイサースティール【119】はサラトガ競馬場で行われたジムダンディ(G2)を完勝し、3歳ダート部門でこの先トップになりえる可能性を示した。